

施策評価管理シート

2023(令和5)年6月作成

施策体系	施策	2	美しい自然に包まれ 快適に暮らせるまち	担当部局(室)名	部局長名
	基本施策	4	魅力的な都市環境づくり		
	施策	2	都市計画	都市整備部	伊集院 時仁

1. 施策の基本方針(目指す将来像)



○ 集約連携型の都市構造を目指し、歴史や文化、自然資源など地域特性を生かした暮らしのまちとして質の高い都市環境の形成に向け、都市マスタープランに基づき、環境、福祉、教育、文化などの分野や地域づくりの取組と連携しながら、多様な生活様式に配慮した、持続可能な魅力ある都市づくりを進めます。
○ 「名張らしさ」を大切にしながら、地域の特性に応じた個性豊かな景観の保全や創造など、美しい市土を形成するために、地域住民と協働して、景観形成を進めるための計画や制度の充実に取り組みます。

2. 令和4年度の実施内容及びその成果



・集約連携型都市の実現に向け、「名張市用途地域等見直し方針」に基づく用途地域等の指定や見直しについて今後の進め方を検討し、次期見直し地域の候補地を固めました。
・用途地域等の見直しと同様、集約連携型都市の実現に向け、「名張市都市計画道路見直し方針」に基づく見直しについて今後の進め方を検討しました。
・集約連携型都市構造の実現に向けた具体的取組を進める「立地適正化計画」の策定を目指し、名張市立地適正化計画策定検討委員会(名張市都市計画小委員会)を立ち上げ、計3回開催した委員会において令和5年度の素案作成の基礎となるたたき台を作成しました。

3. 施策指標(目標)の達成状況



施策指標(目標)の内容(単位)		基準値(H29)	2018(H30)	2019(R1)	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	達成率
自分が住む地域におけるまち並みなど景観や環境が良好であると感じる市民の割合(%)	目標	-	-	-	-	-	73.1	
	成果	70.6	74.2	73.3	75.0	75.9	71.8	48.0%
用途地域指定面積(ha)	目標	-	-	-	-	-	1,350	
	成果	867	867	1,011	1,316	1,316	1,316	93.0%

4. 成果や施策指標の状況を踏まえた課題や現状の分析



・人口減少に伴い、都市のスポンジ化の現象がみられ、買い物等の生活利便性の低下をはじめ様々な分野で非効率化を招くとともに、景観の悪化にもつながっており、集約連携型都市構造の構築が重要課題となっています。
・都市機能の集約化のための次期の用途地域見直し候補地における住民理解を深める必要があります。
・集約連携型都市の実現に向けた都市機能の配置については、現在策定作業中の立地適正化計画により、公共施設、医療福祉施設、教育施設など都市機能の集約化や適正配置を誘導するとともに、災害リスクの高い場所については、被害の低減をふまえた取組を進める必要があります。
・既成市街地での取組においては、用途地域の見直し及び都市計画道路の見直しに加え、景観の保全を十分考慮し進めるとともに、まちなか活性を促進する取組が必要です。

5. 分析結果を踏まえた新総合計画推進に向けた施策の取組内容(令和5年度以降)



・集約連携型都市の実現に向けた具体的取組を進める「立地適正化計画」について、令和4年度に引き続き名張市立地適正化計画策定検討委員会において検討をすすめ、令和6年中の策定を目指します。
・計画的で秩序ある土地利用を推進し、都市機能の集約、住環境の保全など、暮らしのまちとしての魅力を高めるため、各地域組織との連携による用途地域等見直しの検討を進め、未着手の地域での実施等取組を拡大します。
・地域の特色を生かした美しい都市づくりに向け、地域にあった景観まちづくりを推進します。

施策を構成する主な事務事業

*R4決算額が事業費1,000千円以上の事務事業を掲載しています（施設等維持管理、内部管理事務の事業を除きます）。

単位：千円

会計	事務事業名	部局名	室名	令和4年度内容	R4決算額	うち 一般財源
一般	旧細川邸やなせ宿 維持管理費	都市整備 部	都市計画 室	地域活動や生涯学習の場としての貸館事業や名張地区既成市街地に訪れるきっかけづくり、来訪者をおもてなしする場として情報発信、飲食、物販、貸館等を実施し、施設の活用と管理・運営を委託により行いました。 ・来館者数 16,997人	6,750	6,740